広報うちこ
UCHIKO
2019 March vol.257
③
発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893(44)2111(代)／fax(44)4300
http://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp
内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893(44)2112(代)／fax(44)6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892(52)3111(代)／fax(52)2303
編集：広報うちこ編集委員会

住人十色

第116回

◎年明けに初めて炭を焼いた山田さん。「驚きの連続で楽しい」と笑顔

東京から石畳、映像から製造へ――炭焼き技術を受け継ぐ新たな「炎」

山田　浩徳（ひろのり）さん（35）＝石畳7＝

山田浩徳さんは昨年9月、家族4人で石畳地区に移住し、炭焼き職人の後継者になる道を歩み始めました。

東京都でイベント映像の仕事をしていましたが、長男の誕生をきっかけに、田舎暮らしを考え始めたそうです。「子どもを自然の中で、のびのびと育てたかった。故郷の愛媛に帰ろうと思っていたら、石畳地区で炭焼き職人を募集していた」と話す山田さん。「面白そう。ゼロからだけど、挑戦したい」と応募しました。

夏場の炭切から冬場の集材や炭焼きと、一通りの作業を経験し、「大変な仕事だけど楽しい。クヌギの集材などを通じて、自然と共に生きる知恵を学んだ。手間が掛かる分、ありがたみを感じる暮らし」と充実した表情――。「子どもたちの成長も喜びの一つ。以前は『走ったらダメ』『手をつないで』と心配が多かったけれど、今は自由に走り回っている。自分でできることもどんどん増えて、たくましい」と目を細めます。

「地域の人たちから気さくに声を掛けてもらったり、農作物をもらったりと、都会にはない付き合い方に幸せを感じている。早く一人前になって、石畳の炭焼き職人の火を絶やさないよう頑張りたい」と決意を語りました。

編集幸記

▽「平時の面倒は、災害対応に比べたら、些細なこと。普段から最善を尽くすことが、迅速な災害対応や住民の幸せにつながる」。県広報会議の講師・野中さんの言葉に感動。私も広報でできることに全力を尽くします（裕）

▽「最後の夏は悔いなく終わりたい」と意気込む、帝京第五高校野球部の谷本陸さん。球児の心に触れ、私も久しぶりに野球をしたくなりました。以前のようなプレーはできないかもしれませんが、20代最後の1年、悔いなく終わりたいです（航）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。
きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK